

10
月号

第321号

いっしん

平成23年(2011年)

限りなき
神のみまを
かかふりて
今日あることを
忘るるなゆめ

安武松太郎
御歌

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki>



秋季霊祭 仕えられる

秋分の日、加治木教会では秋季霊祭が仕えられました。

ご神前で奏上祭が仕えられた後、ご霊前に移り、加治木教会にご縁のある教徒から信徒のすべてのご霊神のみ名を読み上げて霊祭が仕えられました。

ご霊神様のご功績にお礼申し上げ、お称えお慰め申し上げて、親神様の恵みを受けられてひときわお徳の高いご霊神となられて、ご安心なされて、家族親族を守り導く働きができられるようお祈り申し上げるみ祭りが仕えられました。

霊神祭詞が奏上された後、参拝者一同は皆玉串を奉奠させていただきました。霊様に御礼の真心を捧げさせていただきました。

ご祭典後は、秋季霊祭にお供えされたお菓子が下げられ、参拝者皆でお直会として頂く恒例の茶話会が開かれました。

全国信徒会

九月十一日(日)

西南ブロック信心研修会

鹿児島サンロイヤルホテルにて

講演会前に、二名の女性信徒による信心発表がありました。この発表は、とても感銘深く、良い内容だったので、要旨を掲載致します。「熟読下さい。」

【女性信徒信心発表 要旨】

「自分を見つめ直すとき」

田中暁美（大口教会）



常日頃から「お役に立たせていただきますように」とお願い申し上げます。

大口教会にご縁を頂いて十九年になります。結婚して子どもを授かることができませんでした。そのようなき、主人の姉からお手引きさされました。

平成四年から参拝させていただ



す「信徒の集い」に参加させていただいてからでした。

そこで信心の迷いや悩みが解決させていただきました。

それまでは、子どもが授かるおかげを頂きたい という思いでお参りしていました。

信心の中身が伴っていないことに気付いていませんでした。

食べ物の頂き方、夫婦のあり方、親孝行のあり方など先生から、お結界でお話しいただいていきましたが、先生になかなか心を開けないでいました。

そのため、だんだんとお参りから遠ざかり、お届けさせていたたくのも怖い気がするようになってきました。

しかし、何か問題が起こってくる

き、信心が理解できるようになったのは平成十年の、甘木教会で開かれていま

と、電話をして、またはお参りして、お届けしお願いさせていただくようなことでした。

そのようなときに、先生から「甘木教会の『信徒の集い』に参加させていただきます。『お声がかかりました。』

「信徒の集い」に参加して、班別懇談のときに、そのとき悩んでいました、お届けをさせていただくときに先生にどう向き合って行けばいいのかわからなくなっていましたので、そのことを思い切って話してみました。

すると、参加されてある皆さんが親身になって教えてくださいました。そのときのことをまとめますと、

「自分の思っていることや考えていることを先生方にきちんと伝えていくことで、先生方のご理解のされ方



が変わってくる」

「神様も先生も丸ごと信じる信心をさせていただきなさい」

「ご理解の受け方としては、わだかまりの心があるとダメ、心の底から有り難いという信心ですよ」

ということ、これらのことを、「信徒の集い」の中で教えていただきました。

先生からよく言われていました「あなたはなんで親切になれないの」ということの「親切」ということがわかり、自分はなんて不親切だったのだろう」と気付かされました。

甘木教会の「信徒の集い」から帰って、「親切」を行動に移す練習に取り組ませていただきました。

そこから、いろんなことが変わってきました。親に対し、主人に対し、人に対し、すべてに対してのあり方を「親切」な心で取り組ませていただきました。

それから二年後に、出産のおかげを頂かせていただきました。入信して八年目のことでした。

それから、主人とも心が交流し、

向き合った会話ができるようになりました。

早く子どもが欲しい欲しいと思っていた八年間が、私たち夫婦にとつて、私自身にとつて、いろいろなことを教えていただき勉強させていただいた、とても大切な時間だったと感謝させていただいています。

〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃

「お道の中で」

田辺徳子（日田教会）



昭和二十三年六月に日田教会の長女として生を享け、お育ていた

いただきました。

子どもの頃は、神様・霊様に手を合わせ、少年少女会にも参加させていたでいていました。

しかし、金光教をまったく理解で

きず、有り難いということを感じていませんでした。また友だちから「コンコン様はキツネ？キツネを拝んでいるの？」と言われるのが嫌で嫌でたまりませんでした。

また、私たちはみなさんが上げてくださっているお賽銭で生活をしている、恵んでもらっているという意識があつて、何となく惨めな思いになつてしまうことがありました。

そのため私は「絶対に教会にはお嫁に行かない！」と決心しました。女二人第一人の長女として、両親は私が金光学院に行き、お道の教師となつて教会に嫁くことを願っていたに違いありません。今となつてではありますが、私自身が親になつて、親の心を痛めどれほど親不孝なことをしてしまつたかということを感じるがあります。



私は縁あって今の主人と結婚しましたが、その当時、父は猛反対でした。私は、半年間父と口を利きませんでした。

父は「親子の縁を切る」と言いました。しかし、私は主人との結婚を思いつめていました。主人の仲人さんも「こんなに反対されてまでお嫁にもらわなくても、もつとほかに良い方がありますよ」とまで仰ってあつたそうです。

けれども、昭和四十八年結婚させていただくことになりました。

今は、これも神様のおはからいをたまわる中でのギリギリのできことであつたと思わせていただきます。

今は日田教会の一信奉者として日田市内におらせていただき、あれほど反対していましたが「徳子が近くに来てくれてよかつた」と歎ばれ、教会長や奥様にも「いつも有難う」と喜んでいただき有難いことと思つています。

教会に嫁がず、商売をする家に嫁ぎ、三人の子を授かり、親神様、教



祖様、先祖の霊様方のお祈りの中に生かされている私であると思わされています。

そのおかげの中のできことをお話させていただきます。

長男が中学三年生のとき、十一月に田辺の義母が脳血栓で倒れました。まったく動くことができなかったので、病院に、昼間に父が行き、昼の仕事を終えて夜に私が行き泊まっていた。

その頃長男は高校受験の準備をしていました。本人は日田林工高校の電子科に行きエフワンの技師になりたいと言っていました。

しかし、主人は普通科のある日田高校に行きその後専門学校に行つて自分のやりたいことをすればいい

と言っていました。

そんなとき、私が病院に行つてい

る間に二人は大喧嘩をしてしまったのです。

喧嘩を止める人はだれもおらず、家の壁には穴があき大変なことになっていました。

それから長男はだんだんと学校に行かなくなりました。三学期になつて学校に行けるときもありました

が保健室授業でした。何とか高校を受験し、本人の希望する日田林工高校に合格し、ほつとしたのもつかの間で、一週間ほどの登校したのちに、だんだんと自分の部屋から出てこなくなりました。

「明日は学校に行くよ」と言つて

はいても翌朝になると下痢をしたり熱を出したりして、不登校状態になりました。

それに見つきもうつろになり、これが廃人というのかなと思えるほど

で、もうこの子はダメだ、一生は終わりだ、私も一緒に死んだほうがいい」と何度も思いました。

長男がたまに家族の前に顔を見

せると、義父は「お前は学校にも行かず、何もしないでいいね。ほかの人はみんな学校に行っているのに、お前は行かなくていいの」と言うのです。

それを言いたくなる気持ちはわかるのですが、本人が一番辛い言ってもらいたくない言葉でした。

それから何とかしなくてはと思い悩み、教会ではお取次は頂く中で教会長先生に「教会で何とか預かってもらえないでしょうか」と、無理なお願いをし、預かっていただくことになりました。

それから、一ヶ月ほど経ったとき、長男から「お父さんとお母さんに話があるから家に帰っていいですか」と電話がありました。

その一ヶ月間でどのような心の変化があったのか、私には知る由もありません。

すぐに迎えに行き連れて帰りました。すると、一ヶ月前の長男と違っていました。目には力があり、顔つきがとても穏やかです。

主人と大喧嘩をして以来、二人は

口を利いていませんでした。

そのため長男が話しを始めようとすると、主人は席を立とうとします。

すると長男は「お父さんも、祖父ちゃんも祖母ちゃんも、僕の話聞いてください、そして、話が終わるまで黙って聞いて下さい」と言いました。

主人は、まさか長男からそのように声をかけられるとは思ってもみなかったようでした。

長男は、中学校の頃から聴いている音楽も洋楽、観ている映画も洋画

で、何となくアメリカに憧れていたようで、私の妹夫婦が主人の仕事の都合でシカゴにいましたので、中学校に時に一度遊びに行ったことがあり「アメリカに



行きたい」と言い出しました。

長男がヤル気を起こしてくれて有り難く、神様は見捨てはされなかつた、おかげを頂いた と思ってお礼を申し上げました。

教会長は「郵便配達の人、新聞配達の人、通りすがりに教会のトイレを使いに入ってきた人など、教会の境内に足を踏み入れた人はすべて、知らず知らずのうちに神様のシャワーを浴びているのですよ」とよく言われます。

まさしく長男も神様のシャワーを日々浴びておかげを頂いたのだと思わせていただきます。

金光教の教会、あるいはお広前というのには、お引き寄せいただいたすべてののひとに働きかけられおかげを下さると確信しています。

妹の家族がいるシカゴの高校に、その後入学することができました。

日田林工高校では「留学制度はありませんので、手続きは自分達でして下さい」と言われ、大使館や領事館へは自分達で行き手続きをすることができました。

シカゴの高校に入学してから半年くらい経ったとき、長男がアメリカから手紙をくれました。

その中に「両親にはいろいろと迷惑をかけ、親不孝な息子でした、きつといつか恩返しをします」と書いてありました。

とっても嬉しく思いました。

留学の手続きが大変だったことも、妹家族がシカゴにいたことも、神様がおはからい下さってあったのだと思わせていただきました。

わが子が登校拒否になるなんて、考えても見ませんでした。他人ごとのように思っていました。

でも、このことを通して神様のなさることに無駄事はないということに気付かされ、お取次を頂いて神様におすがりして行けば必ずおかげを頂けると思いました。その長男も、四年前に結婚して、今年三十六才になり、一月には男の子を授かりました。

甘木教会の初代は、



「胸の張り裂けるような悲しみも、身の崩れるような苦しみに出遭うても、神様はけっして氏子のためにならぬことは何一つなさらぬ、自分に与えられている、自分に与えられていることが、最高・最善・最大のおかげと頂けば、今度はおかげになる」

と、み教え下さっています。

私は、このみ教えを本気で頂きたいと思っています。

八月の暑い日のことですが、長男の子が「永久（とわ）」といっています。嫁から事務所に電話があり「永久が昼から戻してだんだん意識がなくなってきました」とのことです。

私が永久を抱えて、嫁が運転をして病院へ急ぎました。

途中、もう少しで病院というところで、私の服を握っていた永久の手がダラリと下がってしまったのです。

私も嫁も、永久がそのまま死んでしまうのではないかと思ひ、永久！と何度も叫びました。

そのような病状ですから、看護婦さんも先生も慌てて診察をして下さいました。

私は、教会長先生に電話でお届けさせていただきお願いさせていたできました。

永久は何度も戻したために脱水状態であったそうで、点滴を受け何とか落ち着いて家に帰らせてもらいました。

その時お礼参りをさせていたただくべきだったのですが、明日の朝参りのときに、お礼参りすればいいだろうとつかつにも思ってしまった。

翌日の朝参りの御祈念の後、お礼のお届けをさせてもらいますと、お願いのお届けをするときは、泣いてお願いをして、みんな御祈念をして心配をしていたのに、おかげを頂いたら、何の音沙汰もないです。どうしますか、お願いよりも、お礼とお詫びが大切です。それを怠ってはいけ



鹿児島サンロイヤルホテル

ないといつも言っているのに、貴女はまだわからないのですか、だから何度も何度も同じことを繰り返すのですよ」とのお言葉で、私は何も言えませんでした。

私は何度も何度もおかげを頂いておりながら、おかげ泥棒になっていたように思います。

今、改めてお取次を本気で頂き、私が日々のお礼とお詫びを中心とした信心にならせていただき、家族がこれまで以上に少しずつでも本気で神様に心を向けさせていただき、信心家庭になるよう共に信心の稽古をさせていたただきたいと願っております。

(おわり)



御用開始の御祈念・朝礼

「西南ブロック信心研修会」当日、スタッフは、開場二時間前の午前十時に集合して、御用開始の御祈念と御用説明の朝礼がありました。

加治木教会からも若者たちが十余名御用におかげを蒙らせていただき、役員の方々も喜んでおられました。

朝礼では、いろいろな御用の手順が説明され、諸注意がなされました。



受付では、名簿や配布物の準備・確認がなされ、御用奉仕者の協力態勢が整って行きます。

遠方からの来場者も、鹿児島中央駅からのシャトルバスで到着されます。会場の「太陽の間」も迎え入れの準備がよく整っていました。



連合会主催

青年のひろば

開催される

今年の連合会主催の「青年のひろば」は、加治木町「さえずりの森」のコテージで開かれました。

今回の講師は、若者からの希望もあつて志布志教会長・連合会長であります、馬渡三郎先生でした。

つい先日、全国信徒会「西南ブロック信心研修会」では、開催される地元の連合会長として重責を担われ、さらに講話後のミニコンサートでは声楽家として美声をご披露されました。



このところ、連合会長として多忙を極められておられますが、この宵は若者たちのために、「神人の道」という講題で、東京で活躍され出されたばかりの声楽家という立場から、いろいろなおトラブルに次々と出くわす中に、ご両親のお祈りに応えて金

光教教師にならせていただくことを決心された、音楽家(声楽家)の悩み多き青春を熱く語って下さいました。講話の後は、馬渡先生を囲んでパ一ベキューとなり、夜のふけるのも忘れて語り合いました。

信徒会からも、チヨツと前までの若者!の参加があり、この日の現役若者ほとんどが「西南ブロック研修会」で御用に当たっていましたので「西南ブロック研修会」の反省会兼慰労会のような空気にもなりました。






行事予定表

教会ブログ
『あしあと』

※教会行事予定表やお知らせ
などのQRコードです。ご利用
下さい。

NTT

2台分の
駐車場を
信徒会で
借りています

公園

木の下でなくなりましたので
夏場の落としモノがなくなりました。

教会

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。

教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



ご霊神様のおまじり

十月

平地セイ之霊神	平成14	10	01
春山陽子之霊神	昭和56	10	06
大木千鶴子之霊神	平成16	10	07
上田喜四郎之霊神	平成03	10	08
中野綾子之霊神	平成04	10	08
庄村徳二之霊神	平成02	10	13
瀬戸秀雄之霊神	昭和50	10	14
内村 健之霊神	昭和58	10	17
中野満行之霊神	平成12	10	18
春山住晴之霊神	昭和47	10	19
矢野仁吉郎之霊神	昭和30	10	26
福元フサ子之霊神	平成15	10	29



あしあと

加治木教会行事記録

9月

1(木) 報徳月例祭	10時半
2(金) 3(土) 甘木親教会 信徒の集い	
9(金) 齋掃御用	10時
10(土) 生神堂 月例祭	10時半
11(日) 信徒会西南ブロック信心研修会	
21(水) 齋掃御用	10時
22(木) 月例祭共励会	13時半
" 青年会	20時
23(祝) 秋季霊祭	10時半
24(土) 25(日) (連)青年のひろば	
30(金) 齋掃御用	10時

十月十日(祝) 十時半より
月例祭に併せて

立教記念祭 並びに

新穀感謝祭 奉仕

※(祭典・教話後、新米の直会を頂きます)

十一月六日(日) 十一時
加治木教会 前日御用奉仕

生神金光大神御大祭 奉仕

※(祭典後、講師の先生により)教話。

御大祭・記念祭

10月

30(日) 人吉教会100年記念大祭 11時

" 上荒田教会御大祭 11時

11月

6(日) 加治木教会御大祭 11時

12(土) 大口教会御大祭 12時

13(日) 多良木教会75年記念大祭 11時

" 西鹿児島教会御大祭 12時

20(日) 鹿児島教会115年記念大祭 11時

23(祝) 宮之城教会50年記念大祭 11時

十月二十四日〜十一月五日
御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時三十分〜午前十時
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

教会行事

10月

1(土) 御本部御大祭出発

2(日) 御本部御大祭 参拝 帰着

4(火) 報徳月例祭 10時半

8(土) 連合会「西ノ研修会」反省会

9(日) 斎掃御用 10時

10(祝) 生神金光 大神様 月例祭 10時半

" 併せて立教記念祭 新穀感謝祭

12(水) 若婦人会 13時半

21(金) 斎掃御用 10時

22(土) 月例祭 兵励会 13時半

" 青年会 20時

30(日) 人吉教会100年記念大祭 11時

" 上荒田教会御大祭 11時

31(月) 斎掃御用 10時

若婦人会 13時半 (未定)

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により
日程を変更することがあります。随時連絡します
のでお気をください。

11月

1(火) 報徳月例祭 10時半

5(土) 加治木教会御大祭前御用奉仕

6(日) 加治木教会御大祭 11時

9(水) 斎掃御用 10時

10(木) 生神金光 大神様 月例祭 10時半

12(土) 大口教会御大祭 12時

13(日) 多良木教会75年記念大祭 11時

" 西鹿児島教会御大祭 12時

17(木) 連合会執行部会(加治木教会) 10時半

19(土) 斎掃御用 10時

20(日) 鹿児島教会115年記念大祭 11時

" 併せて 行徳照真大人五年祭

21(月) 月例祭 兵励会 13時半

" 青年会 20時

23(祝) 宮之城教会50年記念大祭 11時

30(水) 斎掃御用 10時